



発行所
〒107-0052
東京都港区赤坂7丁目
5番38号
公益社団法人
日本PTA全国協議会
発行人 金田 淳
電話 03(5545)7151
FAX 03(5545)7152
ホームページアドレス
https://www.nippon-pta.or.jp/

このQRコードをスマートフォンなどで読み取っていただきますと、日本PTA全国協議会のホームページにアクセスできます。

企画編集協力
日本教育新聞社

綱領

本会は、教育を本旨とし、特定の政党や宗教に偏ることなく、小学校および中学校におけるPTA活動を通して、我が国における社会教育および家庭教育の充実に努めるとともに、家庭、学校、地域の連携を深め、子どもたちの健全育成と福祉の増進を図り、もって社会の発展に寄与する。

主な内容

- 1・2・3面
○令和4年度 定時総会・研修会
4面
○新体制における具体的な運営について
5面
○新ホームページ案内
○コミュニティ・スクールについて
6面
○山形大会の告知
8月26(金)・27(土)
【日本PTA主催】
7面
○こども家庭庁について
8面
○日本PTA全国協議会推薦マークについて



令和4年度 定時総会・研修会

令和4年6月21日(火)東京ガーデンパレスにて開催

定時総会 変革を目指す、令和4年度新体制発足!

令和4年度定時総会が、6月21日(火)に東京ガーデンパレスにて開催されました。また翌22日(水)には新体制に伴う研修会が行われました。総会は、総正会員64人中、来場出席者53人、オンラインによる出席者7人、委任状による出席者2人による全62人の出席者による全62人の出席者により開催されました。議長に選出された山形市PTA協議会会長・高城みさ氏により行われ、審議議案は全て可決されました。その後、新年度役員選出の

祝辞 池田 佳隆様



令和4年度公益社団法人日本PTA全国協議会の定時総会の開催に当たり、一言お祝い申し上げます。皆様方におかれましては、日頃からPTA活動を通じ、学校・家庭・地域の架け橋として、子供たちの健全育成に御尽力いただいておりますことに、深く敬意を表しますとともに、心より感謝を申し上げます。

私自身も、地元名古屋市のPTA協議会において役員を務めると共に、名古屋市立小学校的PTA会長を三年間務めた経験がございます。当時より子供たちのためにPTAが出来ることは何かと問い続けながら、慣例に頼ること

なく変革を恐れず邁進して参った経験がございます。PTAの在り方については、今から遡ること五十年前、昭和四十二年の文部省の審議会において「社会情勢も著しく変化した今日において、従前の在り方を改めて児童生徒の健全な成長を図るといふ本来の目的、性格をこの際明らかにする必要があります」とされました。このことは、コロナ禍による情勢の変化や情報化が著しく進んだ現在においても通じるものであり、文部省の審議会でも示されたPTAの原点に立ち返ることが、今こそ求められていると考えます。皆様方におかれましては、変革を恐れることなく、今後のPTAの在るべき姿を、引き続き模索していただきたいと切に願っています。

また、文部科学省では、本年二月に「教育進化のための改革ビジョン」を公表いたしました。これは、「コロナ禍を契機として、生活様式が変わり、ま

た、デジタル化が急速に進む中、初等中等教育段階の教育政策についての改革方針を示させていただいたものです。この改革方針では、「誰一人取り残さず個々の可能性を最大限に引き出す教育」と、「教職員が安心して本業に集中できる環境」を基本理念として示されています。文部科学省としては、将来を担う子供たちのため、学校・家庭・地域の連携を促進しながらこの基本理念の実現に取り組んで参る所存でございます。PTAの皆様方におかれましては、学業・動かし子供たちに寄り添うPTA活動のリーダーとして、「コミュニティ・スクール」や地域学校協働活動に積極的に関わっていただき、子供たちの健全な成長のために、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

- 文部科学副大臣 池田 佳隆 いかだ よしたか 様
文部科学省 総合教育政策局 社会教育振興総括官 安彦 広斉(あひここうせい) 様
公益社団法人 日本教育会 専務理事 常盤 隆とさ(たかし) 様
全国連合小学校長協会 会長 大字 弘一郎(おおいちろう) 様
全国公立学校教頭協会 会長 漆崎 英二(えいじ) 様
全国公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会 副会長 中川 博喜(ひろゆき) 様
全国国立大学附属学校PTA連合会 会長 大竹 昌士(あおたけまさ) 様
日本PTA相談役 弁護士 山本 剛嗣(ごうじ) 様

新しい形のPTAを模索してまいりました。新学習指導要領にも、これからの社会がどんなに変化して予測困難な時代となっても、自ら課題を見つけて、自ら学び、自ら考え行動し、この改革に込められた思いが書かれており、この予測困難な時代だからこそ、私に何かが新しいことにチャレンジしていくことが必要ではと思っております。このコロナ禍の2年間で、まさに今、PTAは変革期にきています。PTAの歴史に大きく影響を及ぼすであろうこの限られてしまいましたが、その時期を、それぞれ考えや思いを集約させ、一つのテーマとして一緒に活動をしていこうという強い思いから、オンラインの活用等を検討し、新

本紙は各校PTAに、「校長・教頭用」、「PTA会長・役員・広報委員用」、「事務局員用」を目安に配布しています。

令和4年度 役員役職一覧

役職	氏名	出身協議会
代表理事・会長	金田 淳 (かねた あつし)	栃木県PTA連合会
副会長	江田明弘 (えだ あきひろ)	佐賀県PTA連合会
	吉村昌之 (よしむら まさし)	秋田県PTA連合会
	後藤豊郎 (ごとう とよお)	岐阜県PTA連合会
特任理事	本江 学 (ほんごう まなぶ)	富山県PTA連合会
専務理事	比嘉里奈 (ひが りな)	埼玉県PTA連合会
常務理事	佐藤博之 (さとう ひろゆき)	山形県PTA連合会
理事	中野吉朗 (なかの よしろう)	札幌市PTA協議会
	船橋吾一 (ふなばし ごいち)	山形県PTA連合会
	熊谷弘 (くまがい ひろし)	長野県PTA連合会
	宮本隆司 (みやもと たかし)	大阪市PTA協議会
	三浦国英 (みづら くにとひで)	神戸市PTA協議会
	山本浩司 (やまもと こうじ)	広島県PTA連合会
	天堵一公 (てんども かずまさ)	香川県PTA連絡協議会
	松尾和昭 (まつお かずあき)	福岡県PTA連合会
	清水敬介 (しみず けいすけ)	名古屋市長小中学校PTA協議会
	本山正人 (もとやま まさと)	弁護士
	福島純代 (ふくしま すみよ)	公認会計士
	山崎和典 (やまざき かずのり)	有識者



「あいさつ」公益社団法人日本PTA全国協議会 前会長
 令和4年度、公益社団法人日本PTA全国協議会定時総会に公務が多忙の中、文部科学大臣 池田佳隆様、同じく文部科学省総合教育政策局社会教育振興総括官、安彦広斎様をはじめ、多くのご来賓の方々にご臨席賜り、誠にありがとうございました。

全員が日本PTA全国協議会の一員!

今年、令和3年度の経験を活かして、令和4年度の協議会代表者の皆さまが、本日は全国各地から大変多くの協議会代表者の皆さまにお越しいただき、直接対面してお会いすることができ感謝申し上げます。改めて、日頃は日本PTA全国協議会の活動に力添えを頂いておりますことにお礼を申し上げます。

昨年、令和3年度は全国各地の皆さまが「昨年の経験を踏まえて、令和4年度の協議会代表者の皆さまが、本日は全国各地から大変多くの協議会代表者の皆さまにお越しいただき、直接対面してお会いすることができ感謝申し上げます。改めて、日頃は日本PTA全国協議会の活動に力添えを頂いておりますことにお礼を申し上げます。」

今年、令和3年度の協議会代表者の皆さまが、本日は全国各地から大変多くの協議会代表者の皆さまにお越しいただき、直接対面してお会いすることができ感謝申し上げます。改めて、日頃は日本PTA全国協議会の活動に力添えを頂いておりますことにお礼を申し上げます。

今年、令和3年度の協議会代表者の皆さまが、本日は全国各地から大変多くの協議会代表者の皆さまにお越しいただき、直接対面してお会いすることができ感謝申し上げます。改めて、日頃は日本PTA全国協議会の活動に力添えを頂いておりますことにお礼を申し上げます。

添い、共に行動していきこうという趣旨の「あいさつ」をさせていただきます。また、まだ足りない点なども多数あったと思います。改めて、日本PTA全国協議会として、頂上から意見を真摯に受け止めていきたいと考えています。

令和4年は、この2年間、思うようにできなかった全国の協議会の皆さまと直接お会いする機会を増やして、もっとこの日本PTA全国協議会のことをご理解していただけるように取り組んでまいります。

今年、令和3年度の協議会代表者の皆さまが、本日は全国各地から大変多くの協議会代表者の皆さまにお越しいただき、直接対面してお会いすることができ感謝申し上げます。改めて、日頃は日本PTA全国協議会の活動に力添えを頂いておりますことにお礼を申し上げます。

今年、令和3年度の協議会代表者の皆さまが、本日は全国各地から大変多くの協議会代表者の皆さまにお越しいただき、直接対面してお会いすることができ感謝申し上げます。改めて、日頃は日本PTA全国協議会の活動に力添えを頂いておりますことにお礼を申し上げます。

新役員挨拶

本年度、広報企画編集会議を担当させていただきます。

今年6月には日本PTA全国協議会のウェブサイト进行全面リニューアル致しました。これは当会の事業について、会の内外を問わず分かりやすく伝えていくことを目的としています。紙媒体に加えて情報の基盤を整えることで、日本PTAの役割を再認識するとともに、ウィズコロナ時代のPTA活動を支えられる情報の共有を目指します。

今年一年、広報の充実にも尽力致しますので、どうぞよろしくお願い致します。

副会長
後藤 豊郎 (ごとう とよお)

新型コロナウイルス感染症拡大に端を発し、子供たちを取り巻く環境は大きく変わりました。教育環境の変化や、社会環境の変化は今後も子供たちに大きな変化・変革をもたらすことでしょう。それはわれわれ保護者にも同じことがいえます。

私は本年度、公益目的事業2の調査研究事業と総戦略会議を担当させていただきます。大きく変わる環境の中、日Pとして必要なもの、求められるもの、発信すべきものをしっかり捉え、また新たな日Pの挑戦を形にしていきたいと思っております。皆さまのお力添えをよろしくお願い致します。

副会長
吉村 昌之 (よしむら まさし)

副会長の立ち位置はよく微妙なものとして捉えられますが、その役割は明確にあります。それは会長の年度方針をまさしく進めることです。

本年度は委員会制度を敷き、今日的課題に迅速に取り組んでいきます。会長から頂いた無形の年次方針を、議論を重ね行動を起こし「カタチ」にしなければなりません。「カタチ」づくりは手段であって目的ではありません。組織が追求すべき理念に基づき方向性を修正しながら前に進めていくことが、私たち副会長の役割です。

最後まで本質を見失わないように、良いものをつくり上げ努めてまいります。

副会長
江田 明弘 (えだ あきひろ)

令和4年度常務理事の佐藤博之です。皆さまの活動が円滑に進むよう事務方として頑張りたいと思います。モットーは「楽しく、そして少しためになる」です。共に楽しく学び、子供たちの健全育成、教育環境の整備に努めてまいります。趣味は音楽活動ですが、最近は週一のジム通いでヨガとスイミングにいそんでいます。

今年の全国大会は山形大会です。多くの皆さまをお迎えて実りある大会にしたいと考えております。山形でお待ちしています!

常務理事
佐藤 博之 (さとう ひろゆき)

令和4年度、専務理事を務めさせていただくことになりました比嘉里奈です。

専務理事の職務は、会長および副会長を補佐し、理事会の決議に基づき、総会の決議した事項および日常の会務を統括することにあります。また、文部科学省等の外部とのやりとりに関しても、事務局と連携を取りながら対応致します。

本年度は、法人の運営の他、府省等が発足させた会議等にも参加させていただきますので、見聞を深めるとともに、PTAの保護者の立場から意見を交わせればと思っております。

専務理事
比嘉 里奈 (ひが りな)

令和4年度特任理事の本江学と申します。私の職務は、全国大会推進委員会委員長を兼務ということもあり、主に、公益社団法人日本PTA全国協議会の公益目的事業の一つとしての全国研究大会の開催に向け、日々尽力していく所存でございます。

今現在は、8月に開催を予定しております山形大会、そしてその次の広島大会に向け、開催地実行委員をはじめ全国大会推進委員会のメンバーと共に、日々、企画を練っております。全国から一人でも多くの会員の皆さまのご参加を、心よりお待ち申し上げます。

特任理事
本江 学 (ほんごう まなぶ)

公益社団法人としての認識を確認する場となった研修会

6月の白水に開催された研修会では、清水敬介顧問による公益社団法人についての説明が行われ、公益社団法人

法人のメリットとデメリットについての確認がありました。その後、日本PTAについてと題して、諮問会議の

東川勝哉議長より、現状においては残念ながらもあまりの認知されていないという日本PTA全国協議会の活動

宣言

公益社団法人日本PTA全国協議会は、保護者と教職員で構成する日本最大の社会教育関係団体として、国が行う教育改革や子供たちを取り巻く環境整備に関する施策等に対し、積極的に意見・協議を行いながら、教育力の向上及び子供たちの健全育成に寄与してきた。我々はこれからも、国全体の教育環境をよりよくすることを、教育関係団体や関係諸機関等とともに検証・議論することによって、子供たちの生きる力を醸成し、誇りをもつ夢をもち、将来に希望もてる社会づくりに貢献していくのが果たすべき役割であり、責務である。

また、公益社団法人としてガバナンスを遵守した運営と、積極的な情報発信によって、家庭教育及び社会教育の充実と努めるとともに、これまでに以上に家庭・学校・地域が連携協力し、子供たちの健全育成と福祉の一層の増進を図り、社会の発展に寄与することが必要である。ここに公益社団法人日本PTA全国協議会としての役割と責任を自覚し、組織の総力を結集し、次の決議の実現に全力で取り組むことを宣言する。

決議

令和四年度定時総会における宣言に基づき、具体的目標として、次の事項を決議する。
一、子供たちの教育環境の充実をより推進するため、関係府省庁や関係諸機関等との連携、協力を一層密にするとともに、家庭・学校・地域の幅広いかつ力強い連携を深め、情報を共有し、普及啓発を進める。
一、子供たちの心身ともに健全な成長を図るため、教育環境や社会環境の変化に対応した教育の改革に主体的に取り組み、全国の会員とともに社会教育関係団体の一員としての責任を果たす。

一、子供たちを取り巻く様々な課題の解決に努めるとともに、多様性を尊重し、「いのち」の尊厳と「人権」の大切さを強く訴える。
一、子供たちの教育の原点は家庭にあることを認識し、加えて、学校教育・社会教育についての理解を深め、子供とともに成長し、家庭における教育力の向上を目指す。
一、子供たちが自然環境を守り、郷土を親しむ心を培うとともに、国際理解を深め、平和を希求する人の育成を目指す。
一、子供たちの安全・安心を社会全体で見守り、より良い生活環境づくりを目指す。とりわけ新型コロナウイルス感染症への対策、加えて災害に対する防災意識の高揚、犯罪等に巻き込まれないメディアリテラシーの醸成など、環境整備への寄与を高める。

一、全国組織として、PTAの存在意義を明確にし、新たな時代の要請に応える組織運営のあり方や情報発信など活性化施策を構築し、その普及啓発を進める。
令和四年六月二十一日

公益社団法人日本PTA全国協議会

※令和4年度に関しては、「子ども」の表記を「子供」と漢字表記とさせていただきます。



公益社団法人としての認識を確認する場となった研修会

議長自身の過去の経験を通して紹介され、日本PTAの活動が社会に対して重要な影響を持つことを改めて認識する場となりました。そして、金田淳会長からは新体制の基軸となる令和4年度日本PTAの組織、公益目的の事業、委員会、諮問会議についての説明が行われました。研修会の最後に、新組織の中核となる地域課題検討委員会、学校課題検討委員会、組織課題検討委員会、全国大会推進委員会の4グループに分かれて協議が行われ、新体制における具体的な活動内容を各自で検討し合い、今回の意義ある研修会を締めくくりました。

令和4年度会議日程予定

月日	会議名等	月日	会議名等
6月21日(火)	定時総会	令和5年1月11日(水)	三役会
6月22日(水)	研修会	1月18日(水)	三役会
7月6日(水)	三役会	2月8日(水)	理事会
7月20日(水)	三役会	2月15日(水)	三役会
7月21日(木)	理事会	2月8日(水)	三役会
7月22日(金)	プロック協議会 会長会	2月15日(水)	三役会
7月22日(金)	委員会	2月16日(木)	理事会
7月22日(金)	協議会連絡会	2月16日(木)	プロック協議会 会長会
7月22日(金)	懇親会	2月16日(木)	委員会
7月22日(金)	協議会代表者会	2月16日(木)	臨時総会
7月22日(金)	協議会懇談会	2月16日(木)	協議会代表者会
8月10日(水)	三役会	2月末	全国大会期末監査
8月25日(木)	三役会	3月15日(水)	三役会
8月27日(土)	全体会	4月12日(水)	三役会
8月27日(土)	分科会	5月17日(水)	三役会
8月27日(土)	山形大会運営打ち合わせ	5月18日(木)	理事会
8月27日(土)	レセプション	5月18日(木)	プロック協議会 会長会
9月14日(水)	三役会	5月内予定	委員会
10月5日(水)	三役会	6月7日(水)	協議会代表者会
10月19日(水)	三役会	6月23日(金)	三役会
10月20日(木)	理事会	6月24日(土)	三役会
10月20日(木)	委員会	6月24日(土)	期末監査
11月9日(水)	協議会代表者会	6月24日(土)	三役会
11月18日(金)	三役会	6月24日(土)	定時総会
11月18日(金)	事務連絡会	6月24日(土)	懇親会
11月18日(金)	年次表彰式	6月24日(土)	役員引継ぎ会
12月8日(木)	祝賀会		
12月8日(木)	全国大会引継ぎ式		
12月9日(金)	三役会		
12月9日(金)	中間監査		

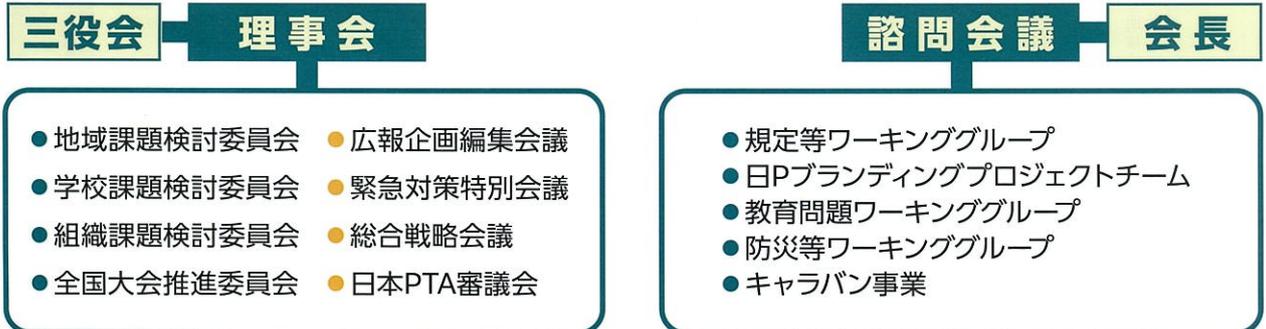
※毎月 理事ミーティング

令和4年度の新体制における具体的な運営について

令和4年度は、日本PTA全国協議会として、さまざまな分野において変革を目指しています。その変革を、具体的に進めるための組織編成を行いました。

日本PTA全国協議会の今までの実績を確認し、社会にアピールするとともに、新たな活動を通して日本PTA全国協議会の存在意義を伝えていくため「発信力の強化」を図ることに重点を置き、同時に組織の透明化を図ることにより、会員全員が組織の一員として取り組めるよう、具体的な運営を進めていくことを目指します。

組織図



新体制組織における役割について

地域課題検討委員会	入退会問題や個人情報の問題など、PTAを取り巻くさまざまな課題の情報共有や検討を行う。
学校課題検討委員会	コミュニティ・スクール、部活動の地域移行、いじめ問題・不登校等の教育現場での課題の情報共有や検討を行う。
組織課題検討委員会	日本PTAやブロック協議会、各協議会または単位PTAの組織としての課題を洗い出し、情報共有や検討を行う。日Pの会費問題やブロック協議会や各協議会の在り方も検討。
全国大会推進委員会	全国大会の内容や運営について協議。
広報企画編集会議	日本PTA新聞の編集、ホームページ関連をはじめ、日本PTAの広報企画、広報戦略を協議。
緊急対策特別会議	災害や緊急事案が発生した時の会議の実施。
総合戦略会議	日本PTAを総合的な観点から、あらゆる対策や施策を協議・実施していく。
日本PTA審議会	三役、OB、有識者で構成し、日本PTAを内外から客観的に審議し、提言していく。

令和4年度諮問会議について

規定等ワーキンググループ	現状の定款や規約の見直し等。
日Pブランディングプロジェクトチーム	日本PTAの在り方を示すとともに、公益事業や法人運営のそもそも論を確立。
教育問題ワーキンググループ	教育現場におけるさまざまな課題について検討。問題や施策について動画作成等を行い周知。
防災等ワーキンググループ	災害時における対応や新型コロナウイルスなどの感染症対策の検討、発信。感染症まん延時の活動の指針など検討。
キャラバン事業	全国のブロック会長会または協議会を訪問し、日本PTAと各協議会の情報共有、意見交換を図る。

令和4年度に実施予定の改革案10項目

- 1 発信力の強化**
 - ホームページのリニューアル。
 - 日本PTA新聞の全面見直し。
- 2 情報連絡機関としての役割強化**
 - 委員会およびブロック協議会を通じ、各協議会の意見を集約、また意見や考えの共有を図る。
- 3 PTAを取り巻く課題の検討**
 - 学校課題、地域課題、組織課題を明確にし、意見交換し、今後の日本PTAの方向性を代表者の皆さまと考える。
- 4 組織の透明化**
 - 三役会や理事会など透明化する。
- 5 外部有識者等からの助言や提言**
 - 内部やOBからだけでなく、教育関係団体やその他から助言や提言をもらい改革していく。
- 6 800万人のPTA会員の皆さまから意見を集約するシステムを構築する**
- 7 ブロック会長会や、各協議会との連携を強化する**
 - 代表者会だけでは把握や意見交換できなかった協議会に対し、小まめに意見交換をする。
- 8 文部科学省や関係団体の取り組んでいる施策等について、分かりやすくPTAの皆さまに知ってもらう。**
- 9 次年度、こども家庭庁との連携を強化する**
- 10 必要とされる日本PTAを目指す**

-2022年-

分科会

8月26日(金) 27日(土)

全体会

『人とひとのつながりを体感しよう!』

第70回 日本PTA全国研究大会
第54回 日本PTA東北ブロック研究大会

～あがらっしゃい精神の山形から～

山形大会

メインテーマ

- 「いのち」のつながりを感じ、次代につなぐPTA活動
「ふるさと」を愛し、心をつなぐPTA活動
生きる力を「まなび」、次代につなぐPTA活動
多様な「つながり」から、子どもたちの未来を切りひらくPTA活動

主催/公益社団法人日本PTA全国協議会 東北ブロックPTA協議会 山形県PTA連合会

大会趣旨

「Withコロナ」に生きる。

新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより世界は一変し、未知のウイルスが存在することを前提とした社会に共存することとなり、誰もが好むと好まざるとにかかわらず新しい生活様式への変容を余儀なくされ、私たち大人も適応していくことが困難な時代となりました。

私たちは、人とひとの「つながり」の中で生きています。その「つながり」とは、先祖代々からの「いのち」のバトンをつなぎ、「ふるさと」を愛し未来に心をつなぐこと。PTAは、家庭と学校そして地域をつなぐ大きな役割を担っています。子どもたちの健やかな成長には、家庭や学校はもとより地域とかかわり、社会性をまなぶことが必要です。多くの人とひとの「つながり」があって生きる力を「まなぶ」のです。

「Withコロナ」の時代、自由に集えないなど、その「つながり」が希薄になり、気付くことすら難しい状況となっています。当たり前と感じていた「つながり」は、当たり前ではなかったことに気づかされました。PTAの目的は、より良い社会を目指し活動をしています。そのために子どもたちの健全育成が必要であり、さらに家庭・学校・地域のつながりをより強いものにしなければなりません。そのつながりは、創られるものではありません。私たちPTAが積極的に創っていくものなのです。

俳聖・松尾芭蕉の「奥の細道」における山形県の出羽三山の旅は、心の旅といわれるように、いにしへの時代から山形県は人とひとの心をつなぐ「あがらっしゃい」の精神が色濃く残るおもてなしの地であります。このおもてなしの地、山形で、そして70回目の節目を迎える本大会で、わが国最大の社会教育関係団体としての自覚と責任を持ち、すべてのPTA会員が人とひとの「つながり」の大切さを体感出来る絶好の機会を共に創りましょう。

記念演奏会

山形交響楽団 Yamagata Symphony Orchestra

演奏 / 山形交響楽団

1972年、東北初のプロ・オーケストラとして誕生。東京・大阪での「さくらんぼコンサート」など、年間150回に及ぶ多彩な演奏活動を展開。2007年、飯森親規(2004年から常任指揮者・ミュージックアドバイザー)の音楽監督就任を機に、名実共に東北地方のみならず日本の音楽文化を代表するオーケストラとしての地位を確立。



記念講演

「一本のタクト」は、人のこころを豊かに幸せにするアイテム

講師 / 飯森 範親 氏



オーケストラの中心であり司令塔である指揮者に内在する感情を引き出すのが指揮者の仕事。日本の指揮者を代表する飯森範親氏は、真の指揮者とは「一本のタクト」により、オーケストラの演奏者一人ひとりと、聴衆者の一人ひとりを見えない糸でつながし合い、紡いでいく。あらゆるものを超越した唯一無二の空間を作り出せる存在である。更には、真の演奏会とは会場にリアルで参加し、身もこころもそこに存在することなくしては実現しないと言いつつ、指揮者という仕事を通して、具現化してきた「人とひとのつながり」の大切さをお話から演奏へのつながりから、全ての参加者に体感していただきたい。

全体会記念講演・記念演奏会

ライブでしか味わえないお話と演奏をあなたに...

こども家庭庁、来年発足へ

組織は 課題は

子供政策の司令塔としての機能を持たせる。こども家庭庁が来年4月に発足する。子供の貧困対策やひとり親家庭への支援など、これまで厚生労働省や内閣府が所管してきた政策を一元的に担う。こども家庭庁の組織と今後の課題を整理する。



こども家庭庁の関連法案を採決する衆議院本会議＝6月16日、国会内で

■背景に児童虐待や貧困
こども家庭庁の創設は、昨年の衆院選を前に、自民党内で議論が始まった。そのため、当初は選挙目的との見方もあったが、実際に子供を取り巻いている問題は深刻だ。

1990年に少子化が社会的な注目を浴び、94年に政府は初の子育て支援計画「エンゼルプラン」を立てたが、その後も歯止めがかからず、2020年には出生数が約84万人と過去最少を更新した。

その一方、同年に児童相談所が対応した虐待件数は20万

件を超え、過去最多を更新した。子供の貧困を巡っては、内閣府の調査で、ひとり親家庭の半数以上が貧困状態にあることが分かっている。

少子化に関する国際的な意識調査によれば「あなたの国は子供を産み育てやすい国だと思いますか」との質問に対して日本では4割以上が「そう思わない」と回答しており、その割合は国際的にも高い。子供と家庭を社会全体で支える仕組みが必要だ。

こども家庭庁は首相直轄の機関として、内閣府の外局に設置される。専任の閣僚(こども政策担当相)の他、組織の長として長官を置く。職員は自治体や民間からも人材を集めて300人体制とする。

組織には①子育て支援などを担う「成育」、②虐待防止や貧困対策などを担う「支援」、③関係省庁との総合調整を担う「総合調整」の三つの部門を設ける。厚生労働省所管の保育所、内閣府所管の認定こども園の事務はこども家庭庁に移管するが、幼稚園を含む学校教育は引き続き文部科学省が所管する。

幼保一元化は見送る形になったが、幼稚園の教育内容と保育所の保育内容は文部科学省と協力して作成し、就学前の教育水準に差が出ないようにするとしている。

また、子供政策の司令塔機能の一環として、各省庁に対して、必要な資料の提出と説明を求める権限や勧告権を持たせる。子供政策に関する新たな大綱も作成する。

こども家庭庁では、当事者である子供たちの意見を政策に反映させることを掲げている。有識者によるこども家庭審議会を設置し、政策の重要事項を協議するが、この場で必要に応じて意見の聞き取りを実施する。また、昨年末に閣議決定した基本方針によると、子供・若者から直接意見を聞く政策モニターやパブリックコメントなどを推進する。

審議会の委員に子供・若者の参画を促したり、SNSを活用して意見を聞いたりする仕組みについても検討していくという。

こども家庭庁の設置法と併せて成立したこども基本法では、子供の権利保障についてもうたがっている。基本理念として「全子供の基本的

人権が保障され、差別的扱いを受けないことや、意見を表明する機会が確保されることを明記。国や自治体が基本理念に沿って、その責務を果たすことを求めている。

野党からは、子供への人権侵害を監視する独立機関の「子どもコミッション」の設置を求める声もあったが、見送られた。

こども家庭庁では今後、子供の性被害防止のための仕組みも検討する。教育・保育施設で働く人に性犯罪歴がないことの証明を求める「日本版DBS」の導入だ。放課後児童クラブや学習塾、スポーツクラブなどで働く人が対象になる。

政府が参考にした英国のDBSは、18歳未満の子供に1日2時間以上接する業務の事業所への就労希望者に、証明書の提出を求める仕組み。政府・与党に対し、日本のNPOが政策提言していた。教育現場では今年4月に教員の性犯罪防止法が施行され、わいせつ教員に対して実質的に復職を防ぐ仕組みができた。保育士やその他の子供と関わる現場では、復職自体を規制する

仕組みがなかった。SNSをきっかけに子供が性被害を受けるケースは増加しており、インターネット上の子供の性被害対策も求められる。

■財源確保を骨本に
子供政策の充実のためには、行政組織の見直しだけでなく、裏付けとなる予算の確保も欠かせない。

日本の子育て関連の公的支出は国内総生産(GDP)比で2割に満たない。3割を超えるスウェーデンや英国の半分程度にとどまっている。

国会の論議では、野党の他、与党公明党からも子供関連予算の大幅な増額を要する声が上がったが、岸田文雄首相はこども家庭庁発足後に必要ない政策を整理した上で、社会全体で財源の負担をどうするかを考慮する」と述べるにとどめ、来年の経済財政運営と改革の基本方針(骨太の方針)で具体的な政策や予算規模などを盛り込む考えを示した。

こども家庭庁の組織は首相直轄の機関として、内閣府の外局に設置される。専任の閣僚(こども政策担当相)の他、組織の長として長官を置く。職員は自治体や民間からも人材を集めて300人体制とする。

組織には①子育て支援などを担う「成育」、②虐待防止や貧困対策などを担う「支援」、③関係省庁との総合調整を担う「総合調整」の三つの部門を設ける。厚生労働省所管の保育所、内閣府所管の認定こども園の事務はこども家庭庁に移管するが、幼稚園を含む学校教育は引き続き文部科学省が所管する。

幼保一元化は見送る形になったが、幼稚園の教育内容と保育所の保育内容は文部科学省と協力して作成し、就学前の教育水準に差が出ないようにするとしている。

また、子供政策の司令塔機能の一環として、各省庁に対して、必要な資料の提出と説明を求める権限や勧告権を持たせる。子供政策に関する新たな大綱も作成する。

こども家庭庁では、当事者である子供たちの意見を政策に反映させることを掲げている。有識者によるこども家庭審議会を設置し、政策の重要事項を協議するが、この場で必要に応じて意見の聞き取りを実施する。また、昨年末に閣議決定した基本方針によると、子供・若者から直接意見を聞く政策モニターやパブリックコメントなどを推進する。

審議会の委員に子供・若者の参画を促したり、SNSを活用して意見を聞いたりする仕組みについても検討していくという。

こども家庭庁の設置法と併せて成立したこども基本法では、子供の権利保障についてもうたがっている。基本理念として「全子供の基本的

人権が保障され、差別的扱いを受けないことや、意見を表明する機会が確保されることを明記。国や自治体が基本理念に沿って、その責務を果たすことを求めている。

野党からは、子供への人権侵害を監視する独立機関の「子どもコミッション」の設置を求める声もあったが、見送られた。

こども家庭庁では今後、子供の性被害防止のための仕組みも検討する。教育・保育施設で働く人に性犯罪歴がないことの証明を求める「日本版DBS」の導入だ。放課後児童クラブや学習塾、スポーツクラブなどで働く人が対象になる。

政府が参考にした英国のDBSは、18歳未満の子供に1日2時間以上接する業務の事業所への就労希望者に、証明書の提出を求める仕組み。政府・与党に対し、日本のNPOが政策提言していた。教育現場では今年4月に教員の性犯罪防止法が施行され、わいせつ教員に対して実質的に復職を防ぐ仕組みができた。保育士やその他の子供と関わる現場では、復職自体を規制する

仕組みがなかった。SNSをきっかけに子供が性被害を受けるケースは増加しており、インターネット上の子供の性被害対策も求められる。

こども家庭庁では今後、子供の性被害防止のための仕組みも検討する。教育・保育施設で働く人に性犯罪歴がないことの証明を求める「日本版DBS」の導入だ。放課後児童クラブや学習塾、スポーツクラブなどで働く人が対象になる。

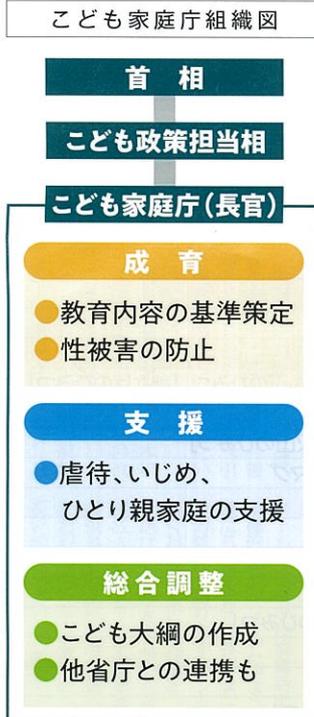
政府が参考にした英国のDBSは、18歳未満の子供に1日2時間以上接する業務の事業所への就労希望者に、証明書の提出を求める仕組み。政府・与党に対し、日本のNPOが政策提言していた。教育現場では今年4月に教員の性犯罪防止法が施行され、わいせつ教員に対して実質的に復職を防ぐ仕組みができた。保育士やその他の子供と関わる現場では、復職自体を規制する

仕組みがなかった。SNSをきっかけに子供が性被害を受けるケースは増加しており、インターネット上の子供の性被害対策も求められる。

こども家庭庁では今後、子供の性被害防止のための仕組みも検討する。教育・保育施設で働く人に性犯罪歴がないことの証明を求める「日本版DBS」の導入だ。放課後児童クラブや学習塾、スポーツクラブなどで働く人が対象になる。

政府が参考にした英国のDBSは、18歳未満の子供に1日2時間以上接する業務の事業所への就労希望者に、証明書の提出を求める仕組み。政府・与党に対し、日本のNPOが政策提言していた。教育現場では今年4月に教員の性犯罪防止法が施行され、わいせつ教員に対して実質的に復職を防ぐ仕組みができた。保育士やその他の子供と関わる現場では、復職自体を規制する

仕組みがなかった。SNSをきっかけに子供が性被害を受けるケースは増加しており、インターネット上の子供の性被害対策も求められる。



世界とつながる時代の
こどもセキュリティ

- SNSで繋がっている人が分かります
様々な分析結果とフィルタにより、お子様がどんな友達とSNS上で繋がっているのかを把握できます。
- 危険なメッセージをアラート通知で伝えます
お子様がSNS上で犯罪やいじめに繋がりそうな危険なメッセージを受け取ったときに、保護者様にアラートで通知します。
- スマートフォンの利用ルールを管理できます
お子様のスマホの使い方はじめとした、ご家庭内のルールを定めて、運用していくことができます。

▼詳細はこちらから▼

Google play からダウンロード | App Store からダウンロード

fili | 検索 | <https://www.filii.net/>

公益社団法人
日本PTA全国協議会
推薦商品について



児童・生徒等の学校教育、家庭生活上
価値が高く、広く利用促進普及させる
ことが適当と認められる事業または物
品を、協賛し推薦する商品です。また認
定された商品には、「推薦マーク」を使
用することができます。

「日本PTA推薦」というマークを存じ
でしょうか？

日本PTA全国協議会では、協賛事業推薦
規程において「児童・生徒等の学校教育、家庭
生活上価値が高く、広く利用促進普及させる
ことが適当と認められる事業または物品を
協賛し推薦すると定めています。

企業さまからご相談があった商品や出版
物に対して、協賛事業推薦委員会に所定の書
類とサンプルをご提出いただき、デモンスト
レーションを行うなどの審査を実施し、規程
に即した商品であると確認された場合に限り
推薦を決定しています。

推薦は1年ごとに申請していただくこと
により更新が可能となり、継続して推薦され
るようになっていきます。

審査過程において、当会の役員より意見を
述べることも少なくないですが、企業さまの
子供たちの教育環境についてのさまざまな
視点に立って、商品開発されていることを伺
うことができ、私たち自身も勉強させていた
だくことも多い事業となっております。

「日本PTA推薦マーク」をお見掛けの際
は、ぜひ手に取っていただき、商品に込めら
れた子供たちへの思いに触れていただけれ
ばと思います。

令和3年度協賛事業推薦一覧

企業名	商品名
1 (一社)家の光協会	月刊誌「ちゃぐりん」
2 エクセル(株)	スーパー学生服上下
3 クツワ(株)	学童用筆入
4 ショウワノート(株)	ジャポニカ学習帳シリーズ (ジャポニカ、イスト、宇宙、フルド、キャラクター、福田)
5 (株)マガジンハウス	書籍「漫画 君たちはどう生きるか」 書籍「君たちはどう生きるか」
6 NTTコミュニケーションズ(株)	マイセキユア
7 (株)otta	スマート防犯プザーtta.g
8 トレンドマイクロ(株)	ウイルスバスター for Home Network
9 アルプスシステムインテグレーション(株)	InterSafe(フィルタリング及び関連するフィルタリングサービスの提供)
10 (株)文藝春秋	『文春まんが 読みとくシリーズアイスクリム ここが知りたい!』
11 パナソニック(株) アプライアンス社	LED照明器具(LEDシーリングライト)(ペンダントライト)(LEDデスクスタンド)
12 デジタルアーツ(株)	i-フィルター / i-FILTER
13 サンスター文具(株)	学習ノート
14 エースチャイルド(株)	子どもセキュリティ『Fili(フィリ)』
15 トレンドマイクロ(株)	「ウイルスバスターシリーズ(令和3年秋販売予定新製品及びモバイル端末向け製品を含む)」
16 (株)学研プラス	学研まんがでよくわかるシリーズ「免疫のひみつ」
17 (株)学研プラス	学研まんがでよくわかるシリーズ「日本郵政のひみつ」
18 (株)学研プラス	学研まんがでよくわかるシリーズ「大豆ミートのひみつ」
19 NECプラットフォームズ(株)	「Atermシリーズ こども安心ネットタイマー」
20 (株)ミクシィ	みてねまもりGPS
21 ジブラルタ生命保険(株)	ベルマーク付生命保険
22 (株)カスペルスキー	カスペルスキーセキュリティ
23 (株)学研プラス	学研まんがでよくわかるシリーズ「ほたてのひみつ」「こんぶのひみつ」「秋さけのひみつ」
24 (一社)家の光協会	月刊誌「ちゃぐりん」
25 (株)学研プラス	学研まんがでよくわかるシリーズ「日本遺産 石見の火山のひみつ」
26 象印マホービン(株)	ステンレススクールボトル、ステンレスボトル、ステンレスマグ
27 理想科学工業(株)	スクリル
28 (株)学研プラス	学研まんがでよくわかるシリーズ「お金のひみつ」
29 菅公学生服(株)	エスパ学生服上下
30 クツワ(株)	学童用筆入
31 (株)学研プラス	学研まんがでよくわかるシリーズ 特別編「ボイラーのひみつ」
32 日立グローバルソリューションズ	LEDシーリング(まなびのあかり)搭載シリーズ
33 ゼブラ(株)	DelGuard(デルガード)
34 (株)学研プラス	学研まんがでよくわかるシリーズ 特別編「ALTのひみつ」

Gakken

子どもの「？」を「！」に変える

学研 まんがでよくわかるシリーズ
〇〇〇のひみつ



全国の小学校や図書館、児童館に配架される
「学研 まんがでよくわかるシリーズ」は、
おかげ様で20周年。全184タイトルを寄贈させていただきました。
これからもよろしく願い申し上げます。



株式会社学研プラス Tel:03-6431-1224 e-mail:info-manabi@gakken.co.jp